

正 誤 表

「大腿骨頸部/転子部骨折診療ガイドライン 2021（改訂第3版 第1、2刷）」

下記の箇所にて誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
20	図1の説明文	図1 <u>年齢標準化大腿骨近位部骨折発生率</u> (/100,000人・年) (文献2より作成)	図1 <u>年齢階級別骨折型別患者数 (1998～2000年)</u> (文献1より改変)
73	p.73 本文 12～17 行目	<u>[システマティックレビュー]</u> ○非転位型大腿骨頸部骨折に対して骨接合術を行ったメタ解析 (12 編, 平均年齢 73.3 歳, $n=1,887$) では, 術後 1 年で骨頭壊死 41 例 [2.2%(95% CI 1.6～2.9)] であった ¹⁾ . <u>[観察研究]</u> ○CCHS で治療した 31 例 (平均年齢 61 歳) に術後 1, 2, 3, 6, 12 ヶ月に MRI で骨頭壊死の診断を行った.	<u>[観察研究]</u> ○非転位型大腿骨頸部骨折に対して骨接合術を行った 375 例の骨頭壊死発生率は 4.0% (15 例) であった. 非転位型大腿骨頸部骨折に対して骨接合術を行った 11 文献に自験例を加えた 1,887 例 (平均年齢 73.3 歳) において, 骨頭壊死発生率は 2.2% (95% CI 1.6～2.9, 41 例) であった ¹⁾ . ○CCHSで治療した31例 (平均年齢61歳) に術後 2, 6, 12 ヶ月にMRIで骨頭壊死の診断を行った.
73	p.73 文献一覧	<u>[システマティックレビュー]</u> 1) <u>De Laet CE, et al: Baillieres Best Pract Res Clin Endocrinol Metab 2000; 14: 171.</u> <u>[観察研究]</u> 2) Kawasaki M, et al: …	<u>[観察研究]</u> 1) <u>Conn KS, et al: Clin Orthop Relat Res 2004; 421: 249.</u> 2) Kawasaki M, et al: …

2024 年 3 月 26 日

株式会社南江堂